

付着量試験結果

2011年11月1日
 (株) 青木科学研究所

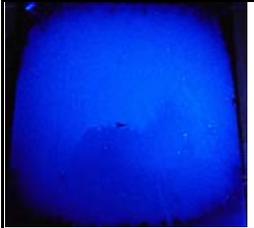
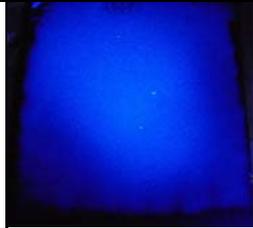
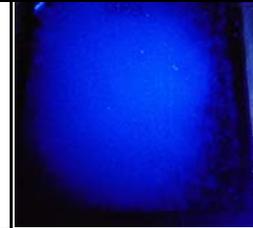
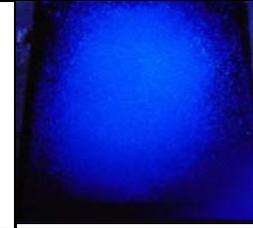
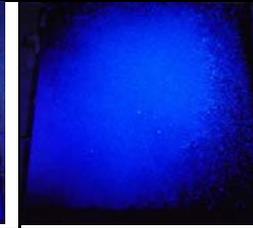
1. 目的 エアー圧と塗布距離の因子を変えたときの付着性を比較する。

2. 結果

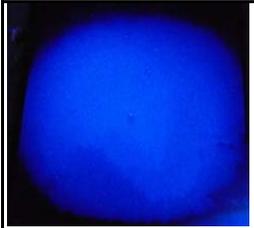
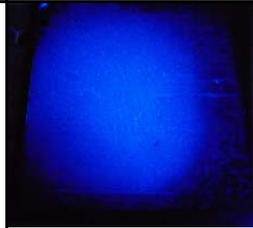
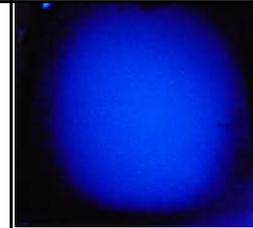
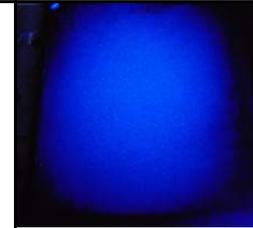
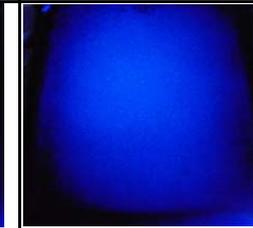
< 試験条件 >

ノズル :
 離型剤 : WFR-3R (油性原液塗布)
 塗布量 : 0.3cc
 塗布温度 : 250℃
 TPサイズ : 10cm×11cm (SPCC)

① エアー圧 : 0.025 MPa

塗布距離				
50mm	100mm	150mm	200mm	250mm
				
付着量				
23.7	11.0	8.0	6.8	5.2

② エアー圧 : 0.05 MPa

塗布距離				
50mm	100mm	150mm	200mm	250mm
				
付着量				
21.5	12.1	11.6	9.5	8.0

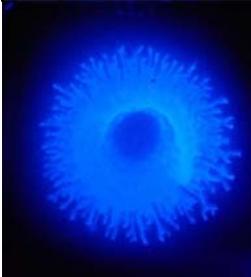
③ エアー圧 : 0.1 MPa

塗布距離				
50mm	100mm	150mm	200mm	250mm
				
付着量				
17.7	14.7	11.2	8.2	6.0

④ エアー圧 : 0.21 MPa

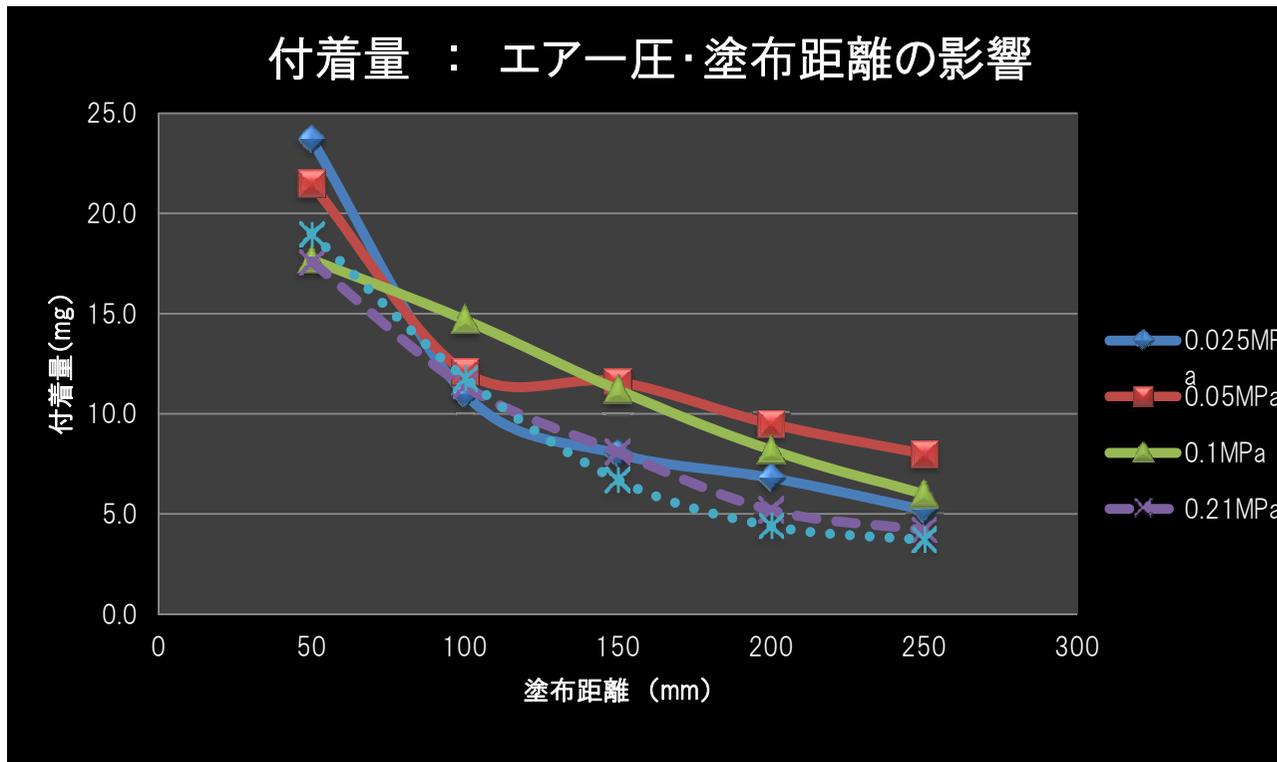
塗布距離				
50mm	100mm	150mm	200mm	250mm
				
付着量				
17.6mg	11.4mg	8.1mg	5.2mg	4.2mg

⑤ エアー圧 : 0.40 MPa

塗布距離				
50mm	100mm	150mm	200mm	250mm
				
付着量				
19.0mg	11.8mg	6.7mg	4.4mg	3.7mg

■ 付着量のグラフ化

		50	100	150	200	250	(mm)
ハコト有	0.025MPa	23.7	11.0	8.0	6.8	5.2	
	0.05MPa	21.5	12.1	11.6	9.5	8.0	
	0.1MPa	17.7	14.7	11.2	8.2	6.0	
	0.21MPa	17.6	11.4	8.1	5.2	4.2	
	0.40MPa	19.0	11.8	6.7	4.4	3.7	(mg)



- 前回報告分と合わせて考察すると、エア一圧力は0.1MPa以下が好ましく、それ以上高くすると付着性は低下する。(0.1MPa以上の条件より、0.025MPaの付着性のほうが高い)
また、付着面積も広くなる傾向がみられる
- 0.025MPaでは塗布距離50mmでの付着は多いが100mm以上では付着量が低下する
- 塗布距離と付着量、付着面積のバランスから、エア一圧 0.05~0.1MPa が推奨される